

平成30年度第1回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2018年4月26日(木)

午後6時30分から午後7時30分まで

片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

・委員 13人(現在数20人)

欠席7人(浜野委員, 森田委員, 依藤委員, 永野委員, 川嶋委員, 中川委員, 笹岡委員)

・事務局 5人

・傍聴 0人

《当日資料一覧》

1. 平成29年度第12回全体会議事録
2. 部会議事録
3. 地域回覧チラシ(4/5, 4/20)
4. 平成30年度希望部会入り委員名簿
5. 片瀬・江の島まちづくり協議会 平成30年度スケジュール
6. まちづくり通信第32号(案)
7. 別冊 藤沢市市政運営の総合指針2020事業集(抜粋)

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- (1) 平成29年度第12回全体会(3/20)について
事務局から説明し, 確認した。
- (2) 委員研修について
4/19に開催した新任委員研修の結果について事務局から報告した。
- (3) 部会からの報告
部会議事録をもとに報告した。
- (4) 各地域団体等からの報告(トピック)
村越委員(生活環境協議会)から4/21実施のクリーンキャンペーンについて報告された。
- (5) その他
特になし。

4. 議題

(1) 平成30年度所属部会について

- 事前調査により集約した希望部会入り委員名簿により、各委員の所属部会の確認を行った。
→課題の整理を行う中で、新たな部会やWGを立ち上げる場合はその都度調整を行う。
→次回全体会の際に協力員も含めた部会名簿をお示しする。

(2) 年間スケジュールについて

- 4/10開催の役員会において、第1回地区集会(6/29開催予定)について検討した結果、まずは地域課題の整理、計画づくりに時間をかけて注力し取り組む方針となったため、6月に予定していた地区集会の開催は見送ることとした旨を報告した。
- 今後、開催する必要が生じたときに、あらためて開催時期を検討する。
→準備会で配布した平成30年度スケジュールから6月の地区集会を削除したものをあらためて配布した。

(3) まちづくり通信第32号について

- 事務局から、第32号の案の説明を行い、委員から意見を伺った。
- 回覧日は最短で6/8、遅くとも6/20回覧を予定。
→巻頭の集合写真について、委員全員が揃った写真を撮るのが難しいことから、写真の扱いは役員会に一任された。

(4) その他

- 特記事項無し

5. その他

(1) 当面の日程

第1回ワーキング	5月10日(木)	18:30~	市民センター第2談話室
第2回役員会	5月10日(木)	20:30~	市民センター第2談話室
第2回ワーキング	5月21日(月)	18:30~	市民センター第2談話室
第2回全体会	5月25日(木)	14:30~	市民センター第1談話室

(2) その他

別冊「藤沢市市政運営の総合指針2020事業集」(抜粋)を参考配布した。

6. 閉会

以上

平成30年度第2回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2018年5月25日（金）

午後2時30分から午後4時15分まで

片瀬市民センター ホール

《出席者》

・委員 12人（現在数20人）

※浜野委員（スポーツの会）の代理として齋藤氏が出席

欠席 9人（浜野委員，甘粕委員，村越委員，大館委員，高木委員，岩田委員，川嶋委員，中川委員，高野委員）

・事務局 6人

・傍聴 0人

《当日資料一覧》

1. 平成30年度第1回全体会議事録
2. 部会議事録
3. 地域回覧チラシ（5/2，5/20）
4. 平成30年度片瀬・江の島まちづくり協議会部会名簿
5. 平成30年度片瀬地区まちづくり協議会（前年度からの）引継ぎ課題一覧
6. 平成30年度新規事業提案一覧表
7. 平成30年度新規事業提案書
8. 片瀬地区生活環境協議会平成29年度事業報告・平成30年度事業計画
9. まちづくり通信第32号（案）

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- （1）平成30年度第1回全体会（4/26）について
事務局から説明し，確認した。
- （2）部会からの報告
部会議事録をもとに報告した。
- （3）各地域団体等からの報告（トピック）
三觜委員（青少年育成協力会）から7/20実施のデーキャンプについて告知された。
澁谷晴子委員（社会福祉協議会）から平成30年度敬老事業（敬老会・敬老祝い金）及び日赤からの寄付のお願いについて説明された。

齋藤氏（スポーツの会）から6/2実施のスポーツフェスティバルについて告知された。
吉見委員（子ども会連絡会）から5/26実施のこどもらんどまつりについて告知された。

- (5) その他
特になし。

4. 議題

- (1) 平成30年度所属部会について

- 各部会の協力員を含めた部会名簿を配布した。会議が開かれていない一部部会については、部会長等が空欄になっているものがある。

- (2) 平成30年度検討課題について

①引継ぎ課題の整理について

- 5/10に開催したワーキングの結果について報告した。

②新規課題について

- 5/21に開催したワーキングの結果について報告するとともに、提案委員からの説明、各事業についての意見交換を行った。

ア. 「あんしんみまもりカード」の普及啓発

- 自治町内会連絡協議会の総会でも取り上げる等、着手できるところから普及啓発を行っている（事務局）

- 3年は継続して普及啓発してほしい（澁谷宏美委員）

- 片瀬地区だけでなく、市全体に周知してもらうよう、まち協として働きかけてはどうか（澁谷晴子委員）

イ. 街中クリーン作戦

- 生活環境協議会の事業報告・計画書を基に事務局が生環協の各事業について説明を行った。事務局としては生環協と協力しながら本提案について検討していきたい（事務局）

- 生環協の取り組みについて、よく分かったので引き続き頑張っていたきたい（森田委員）

ウ. モニュメントの設置

- 仮にモニュメント設置について取り組もうとしたときに、藤沢市からまち協に対して予算はつけてくれるだろうか（畠山委員）

- 予算については確約できない（事務局）

- スバナ商店会でモニュメントを設置したことはある（依藤委員）

エ. 郷土魅力や特色の次世代継承

- 社会福祉協議会が行っている児童交流会の語り部も高齢化が進んでいるので、映像化を考えている（澁谷晴子委員）

オ. 地域活性化・郷土魅力再発掘映像制作

- 郷土文化推進部会で取り扱っていくことを確認した（事務局）

- そのほか、新規事業に関する全体的な議論は以下の通り

郷土文化推進部会が取り扱うものが多く、取り組み切れるか（徳江委員）

郷土魅力ですべてを取り扱うのは難しいので、個別にワーキングを立ち上げることも考えている（畠山会長）

郷土文化推進部会がすべての事業を一斉に取り組むのではなく、選択と集中をしていけばよいと思う（事務局）

各部会の協力員は年度途中で増やしてもいいか。事業を見て郷土文化に入ってもらうのも一つの手では（澁谷晴子委員）

(3) まちづくり通信第32号について

- ・事務局から、第32号の案の説明を行い、委員から意見を伺った。6月の役員会を最終確認として、6/25 広報ふじさわと同時に全戸配布とする。
- ・表面の「忌憚」が読めない人もいると思うので、削除してほしい（三髯委員）
- ・「青少年居場所事業」「小学生ふれあい事業」について、今年度の事業方針に沿って修正してほしい（三髯委員）
- ・新規事業で挙げられたものについては掲載しないのか（徳江委員）
→現時点では正式に決まっていないので、まだ掲載しないほうが良い（事務局）
- ・片瀬地区ポータルサイトのトップページが更新されていないように見えるが（笹岡委員）
→「片瀬・江の島」トピックスについては更新が止まっているが、随時再開する予定である（事務局）

(4) その他

- ・特記事項無し

5. その他

(1) 当面の日程

第3回役員会 6月7日（木）午後6時30分～午後8時30分 市民センター-第2談話室

第3回全体会 6月21日（木）午後6時30分～午後8時30分 市民センター-第1談話室

6. 閉会

以上

平成30年度第3回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

2018年6月21日(木)
午後6時30分から午後8時まで
片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 17人(現在数20人)
欠席 3人(岩田委員, 中川委員, 吉見委員)
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催準備室職員
(高田主幹, 谷村上級主査, 広岡上級主査)
- ・事務局 6人
- ・傍聴 0人

《当日資料一覧》

1. 平成30年度第2回全体会議事録
2. 部会議事録
3. 地域回覧チラシ(6/5, 6/20)
4. 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて(東京オリンピック・パラリンピック開催準備室作成資料)
5. 藤沢市大会関連ボランティア等実施計画 Ver.1.0(東京オリンピック・パラリンピック開催準備室作成資料)
6. 「新」ロボット共生社会推進事業費(神奈川県作成資料)

1. 開会

開会に先立ち, 秋岡氏に対して委嘱状が渡され, 正式に協議会員となった。

2. 会長あいさつ

3. 報告

- (1) 平成30年度第2回全体会(5/25)について
事務局から説明し, 確認した。
- (2) 部会からの報告
部会議事録をもとに報告した。
- (3) 各地域団体等からの報告(トピック)
三觜委員(青少年育成協力会・子ども会連絡会)から6/23にわくわく子ども天国の開催, 夏期夜間の海岸パトロール開催, 下の谷子ども会入会のお誘いについて, 報告があった。
澁谷晴子委員(社会福祉協議会)から介護をしている人のつどい, 社協だより(しあわせ)

発行のお知らせ、出張にここ広場（片瀬中学校）の開催について報告があった。
大館委員（民生委員・児童委員協議会）から民生委員の現状調査にあたり、あんしんみまもりカードの普及啓発活動を行っていることが報告された。

- (4) その他
特になし。

4. 議題

- (1) 東京オリンピック・パラリンピックへの市民参加について（説明・質疑）

●オリパラ準備室作成の資料を基にプレゼンが行われ、その後質疑を行った。回答者はオリパラ準備室による。

●説明概要

- ① オリパラに関するボランティアは、大会ボランティア、都市ボランティア、藤沢市独自のボランティア、そして別枠で2020 応援団藤沢ビッグウェーブがある。
- ② 大会ボランティアは今年 9 月中旬から募集開始予定。大会運営全般のサポートを行い、募集・運営は大会組織委員会が行う。
- ③ 都市ボランティアは今年 9 月下旬から募集開始予定。競技会場外の観客や一般観光客の観光・交通案内を行い、募集・運営は藤沢市と神奈川県が行う。
- ④ 藤沢市独自のボランティアは、大会・都市ボランティア以外に「一人でも多く」「気軽に」参加してもらうための仕組みで、大会期間前から訪れる人々を「おもてなし」の心で迎える取り組みを実施する。枠組みとして「参加募集型」「企画提案型」プロジェクトがある。
- ⑤ 参加募集型プロジェクトは、市が主体となり市民に対して広く参加者・協力者を募集するもの。
- ⑥ 企画提案型プロジェクトは、市内で活動するボランティア団体・グループ・企業などから活動の企画提案を公募するもの。
- ⑦ 2020 応援団藤沢ビッグウェーブは、市民全員参加に向けて、盛り上げるための取り組みとして実施。
- ⑧ オリパラ準備室から片瀬地区に期待することとして、「開催会場の地元として、先導的な取り組みを実施してほしい」「提案をいただいた内容について、実現に向けて協働して進める」

Q 笹岡委員…開催期間中、どのくらいの手になるのか。

A…選手が500～600人、そのスタッフが選手の約1.5倍なので、それだけで1,500～1,600人の見込み。観客が約5,000人、観光客が夏場で2万～3万人の見込み。

Q 永由委員…開催中も江の島に観光客入れるか。

A…入れるが、会場内はチケットが要る。

Q…競技中、会場で何を見るのか。東のほうが見やすい。

A…見られる範囲は限られる。詳細は未定。

Q…逗子・葉山との連携は。

A…行ってはいるが、細かいことまではできない。

Q 徳江委員…プレプレ大会（W 杯）が今年あるが、特別な試みはあるか。

A…観光ボランティアのテストがある。

9/8 に江の島でおもてなしイベント

9/15, 16 に W 杯によるおもてなしイベントがある。

Q 永由委員…“弁天橋花いっぱい愛好会”活動に関連して、県有地への対応はどうか。

A…必要な調整を行い、プランターの設置活動を行う。

Q…神奈川県が NG を出すのでは。

A…花の生産農家と、塩害に強い花のテストを漁港で行い、プランター設置事業に活用する。県とは調整する。

Q 畠山委員…宿泊施設への予約状況を藤沢市として業者に提供しないのか。

A…旅行代理店がサポートする。民泊については保健所と適切に行っていきたい。

Q 澁谷晴子委員…“参加募集型”はグループでも参加できるか。

A…できる。

Q…“提案型”はいつから。

A…9 月から。19 年度、20 年度とも、少しずつ試しながら予算の範囲内で。

Q 高野委員…ボランティアにも適正な数値の規範はあるか。

A…定数があるので、必要に応じて調整する。都市ボランティアは定数を 840 としている。

(2) まち協の東京オリンピック・パラリンピックへの取り組みについて（協議）

●まち協として、今後どのように取り組んでいくか、協議した。

- ・畠山委員…ヨット音頭に関して、さざなみ会の活動に加入することはできるのか。
- ・徳江委員…自分は直接活動に入っているわけではないが、あくまでも婦人部のサークル活動なので、参加者を増やそうといった意思はない。
- ・村山センター長…ヨット音頭の普及に関して、公民館事業として導入されているものもある。
- ・三觜委員…花植えについて、年間を通じての手入れは高齢化のため大変で、今後どうなっていくか、まち協の協力が得られれば。
- ・徳江委員…毎回全体会で話してもまとまらない。部会かワーキングにするのか。
- ・畠山委員…全体会でその点を考える。地域団体も一つではなく、合同で活動することもできるのでは。
- ・澁谷宏美委員…セーリング協会と協力して、記念切手の発行を交渉中。色々 PR できるのでは。
- ・浜野委員…子どもでも分かるセーリング講習の地区集会を行ってはどうか。知り合いにセーリングの国際審判員（日本人）を講師に。
- ・川嶋委員…オリンピックを取り扱うための部会を立ち上げては。見識を活かし、地域団体独自のオリパラ向け活動を。各部会から委員を選出しては。
- ・徳江委員…各部会で具体的にできることを考え、まち協で提案できる形を。

- ・ 畠山委員…部会として成立するだろうか。
 - ・ 澁谷宏美委員…セーリング記念切手の展示会なら、ふれあいまつりでできると思う。
 - ・ 澁谷晴子委員…部会を立ち上げる必要があると思う。
 - ・ 三觜委員…各部会で検討して、委員を選出する？
- 結論として、次回全体会までに各部会で検討、委員選出することとなった。

(3) その他

- ・ 事務局から、神奈川県事業である「ロボット共生社会推進事業」について、特に、セーリング W 杯に合わせて行われるバスの自動運転「江の島運転プロジェクト」について説明を行った。
- ・ 笹岡委員から、6/18 に発生した大阪での地震に関連して、グリーンベルトをまち協として設置した箇所について、危険調査の照会は来ているか、との問い合わせがあった。事務局からはセンター・公民館の施設に関しての照会は来ていること、道路上についても担当課が何らかの調査・照会がされるのでは、と回答した。

5. その他

(1) 当面の日程

- | | | | |
|--------|----------|-----------------|--------------|
| 第4回役員会 | 7月 5日(木) | 午後6時30分～午後8時30分 | 市民センター-第2談話室 |
| 第4回全体会 | 7月24日(火) | 午後6時30分～午後8時30分 | 市民センター-第1談話室 |

6. 閉会

以 上

平成30年度第4回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2018年7月24日(火)

午後6時30分から午後8時15分まで

片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 10人(現在数20人)
欠席 10人(川嶋委員, 三觜委員, 村越委員, 徳江委員, 大舘委員,
依藤委員, 岩田委員, 中川委員, 高野委員, 永由委員)
- ・市民自治推進課
(宮原参事, 青木補佐, 近藤補佐, 石田主査)
- ・事務局 5人
- ・傍聴 0人

《当日資料一覧》

1. 平成30年度第3回全体会議事録
2. 部会議事録
3. 地域回覧チラシ(7/5, 7/20)
4. 2018セーリングワールドカップシリーズ江の島大会ウェルカムフェスティバル
5. 片瀬山市民の家の再整備事業について(お知らせ)
6. オリパラワーキング名簿
7. 東京2020大会まであと2年! 記念イベント開催及び都市ボランティア募集等について
8. 第40回片瀬地区ふれあいまつりプログラム
9. まちづくり通信発行について(第33号発行企画)
10. まちづくり通信第33号原稿案
11. 江の島プロジェクト概要(案)

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- (1) 平成30年度第3回全体会(6/21)について
 - ・事務局から説明し, 確認した。
- (2) 部会からの報告
 - ・部会議事録をもとに報告した。
- (3) 各地域団体等からの報告(トピック)

- ・澁谷晴子委員（社会福祉協議会）から「ひだまり片瀬」発行の報告と、新入生向け呼子笛プレゼントの案内について説明された。敬老会が9月5、6日の2日間に分かれて開催することが報告された。
- ・秋岡委員（江の島振興連絡協議会）から2018セーリングワールドカップシリーズ江の島大会ウェルカムフェスティバルが開催され、江の島を挙げて選手たちをおもてなしすることが報告された。

(4) その他

- ・特になし。

4. 議題

(1) 片瀬山市民の家再整備について（説明・質疑）

- 市民自治推進課作成の資料を基にプレゼンが行われ、その後質疑を行った。回答は特記がなければ市民自治推進課による。※は意見表明等、質問ではないもの。

●説明概要

- ① 当初予定していた片瀬山市民の家再整備にかかるコミュニティ拠点施設検討会議の設置については財政状況を踏まえて一年先送りし、平成30年8月に公募を開始し、10月に立ち上げる。
- ② 検討会議では（1）市民の家の用地活用方法、（2）会議での議論を基に作成する基本コンセプトの作成、（3）スケジュールの検討を行う。
- ③ 検討会議の人選について、委員構成のバランスは重視したい。片瀬山住民：片瀬地区以外住民、年齢・性別バランス、公募委員人数：団体推薦委員バランス等。
- ④ 検討会議とは別建てで行われる多世代型ワークショップについて、ここでは検討会議で取り扱いにくい課題の深堀を行ったり、住民からの意見聴取の場と位置付ける。
- ⑤ 再整備事業においては、市が責任を負うものであり、検討会議の委員は責任を負わないものである。
- ⑥ 片瀬山幼稚園跡地は当初土地の二分の一を使う計画であったが、現在は全体を使う計画となっている。よって、市民の家だけでなく、何らかの複合化は検討していきたい。

Q 畠山委員…委員構成のバランスを考慮したいとのことだが、片瀬山市民の家運営委員会からは女性を入れる予定があるか。

A 澁谷宏美委員…入れる予定である。

Q 用地の活用方法について、検討会議に入る前に、市民自治から提示はあるのか。

A 会議の中で話し合っていく。活用方法で話題になったときに、関係部署を呼んで意見聴取等を行うことを想定している。

Q 残り二分の一の用地については活用方法が決まっていないと思う。

A 議論の中で決めていきたい。市全体の視点も踏まえて考えることになる。防災機能を付与する考えはない。

Q 浜野委員…付与施設は別棟で建てる？

A 機能的には分けるが建て方は付与されるものの性質や費用等、状況による。地域拠点の

集約や多機能化を進めていくことを他の地域では行っている。

Q 澁谷晴子委員…委員の人選について、片瀬山とそれ以外地域のバランスや年齢は。

A 地域差がついても1：2くらい。年齢がどちらかに偏るのは避けたい。40～50年は使うので、若い世代にも入ってもらいたい。

Q 防災の観点は議論に載せないのか。

A 理事者調整も踏まえて、行わないこととしている。

Q 浜野委員…片瀬山市民の家の利用者は片瀬山の住民が多い。公募して片瀬山以外の委員が集まるだろうか。

A 今後市民の家の統廃合もあり得る。人口減も含めてトータルで考えるためにも片瀬山以外の方々が必要。

Q 森田委員…片瀬山市民の家には、そこにしかない特質性があるのか。

A 多機能化については議論していきたい。

Q 笹岡委員…財政状況の悪化については予測できていたものではないか。

A 扶助費が増えており、他の公共施設も老朽化してきており、予算確保が難しかった。

Q 新しい片瀬山市民の家の耐用年数は。また、その根拠は。

A 40～50年とみている。厳密ではないが40～50年が公共施設の一般的な耐用年数と言われている。

Q 土地開発公社が先行取得しているが、それは大丈夫なのか。

A 予算は建てられているので、大丈夫。

※澁谷宏美委員…40～50年残る建物を作るので、防災の観点も踏まえたものにしたい。レガシーとなるようなものを作るため、皆様の協力をお願いしたい。

(2) 東京オリンピック・パラリンピック関連ワーキングの立ち上げについて（報告）

- 事務局から、各部会からのワーキング選出委員の報告及び、短期的取り組みのため、部会でなくワーキングとして活動することを報告した。

(3) ふれあいまつりへの参加について

- ・事務局から、まちづくり協議会としてふれあいまつりへの参加を役員会で決められたことの報告及び、参加したい部会があれば募りたい旨を報告した。
- ・澁谷宏美委員から、セーリングに関する記念切手の展示会なら行いたい旨の要望があった。
- ・澁谷晴子委員から、オリンピックに関するものをぜひ行ってほしいとの要望があった。

(4) まちづくり通信第33号について

- ・事務局から、役員会での決定事項として、第33号については地域団体紹介号とし、フルカラーで作成することを報告し、スケジュールについて提示した。

(5) その他

- ・事務局から、平成31年度の概算予算要求について、本年度と同額とすることを報告した。

- ・江の島プロジェクト（バス自動運転）について、事業概要を事務局から説明した。
- ・澁谷宏美委員から境川の水位に関して情報を見られるものはあるか、また、そういったものがあれば、まち協として住民に対して情報提供していく必要があるのでは、という提言があった。森田委員から、「ふじさわ街歩きナビ」において、防災情報を得られる機能がある、との紹介があった。

5. その他

(1) 当面の日程

第5回役員会 8月 7日（火）午後6時30分～午後8時30分 市民㊦-第2談話室

第5回全体会 8月21日（火）午後6時30分～午後8時30分 市民㊦-第1談話室

6. 閉会

以 上

平成30年度第5回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2018年8月21日(火)

午後6時30分から午後7時30分まで

片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 10人(現在数20人)
 - 欠席 10人(川嶋委員, 浜野委員, 村越委員, 森田委員, 大舘委員,
依藤委員, 岩田委員, 中川委員, 吉見委員, 永由委員)
- ・事務局 6人
- ・傍聴 0人

《当日資料一覧》

1. 平成30年度第4回全体会議事録
2. 部会議事録
3. 地域回覧チラシ(8/3, 8/20)
4. 藤沢市新コミュニティ拠点施設(新・片瀬山市民の家)検討会議委員募集要項
5. 新コミュニティ拠点施設(新・片瀬山市民の家)検討会議委員応募用紙
6. 新コミュニティ拠点施設(新・片瀬山市民の家)検討会議委員を募集します(回覧)
7. まちづくり通信第33号
8. ふじさわボランティアフォーラム
9. 東京2020オリンピック・パラリンピック大会ボランティア(募集案内)

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- (1) 平成30年度第4回全体会(7/24)について
 - ・事務局から説明し, 確認した。
- (2) 部会からの報告
 - ・部会議事録をもとに報告した。
- (3) 各地域団体等からの報告(トピック)
 - ・澁谷晴子委員(社会福祉協議会)から, 「敬老会」開催案内, 「福祉バザー(於ふれあいまつり)」品物提供案内, 「障がい福祉部会講演会」開催案内, 「家族を介護している人のつどい」開催案内, 「高齢者福祉バスツアー」募集案内, について報告された。
 - ・甘粕委員(自主防災協議会)から「片瀬地区総合防災訓練」開催案内について報告された。

(4) その他

- ・片瀬江ノ島駅周辺整備についての回覧（8／20分）が、特定の自治町内会に配布されているが、片瀬江ノ島駅を利用するであろう住民がいるその他の自治町内会への回覧が必要ではないだろうか（甘粕委員）。
→事務局から担当課に伝える。

4. 議題

(1) 片瀬山市民の家再整備について（経過報告）

- 検討会議委員の公募が始まるにあたり、検討委員会議の募集要項を中心に事務局から報告した。その後質疑を行った。なお、特記がない場合、回答は事務局が行っている。※は意見表明等、質問ではないものを示す。

●説明概要

- ① 委員の人員は18歳以上で、公募は若干名となる。会議体全体で20名前後となる。
- ② 公募の選考が終わった後に、各団体への委員を選出依頼する予定である。
- ③ 検討項目は4点。(a) 地域市民の家のほか、計画地に整備すべき機能、(b) 施設を生かした事業、(c) 再整備に係る基本的なコンセプト、(d) 再整備に係るスケジュール
- ④ 別途テーマごとにワークショップを開催するが、若年層もターゲットになる。

Q 畠山委員…当初まち協からは2名、会議体に委員選出を依頼されていたと思うが。

A 公募の状況により判断するため、人数は固定されない状態となっている。

※澁谷宏美委員…公募とその他の委員構成は1：1にしてほしいと思っている。40～50歳代に多く入ってほしいと思っているので、そのことを市民自治推進課に伝えてほしい。

Q 徳江委員…片瀬山の5町内会等の関係者は団体での取り扱いになるのか。

A 細かい部分は公募の応募状況によるのでは。

※澁谷宏美委員…まち協からも委員を出してもらおうよう要望してほしい。また、各自治町内会長（目白山、東り町）から公募委員に出てもらおうよう要請してもらえるとありがたい。

※秋岡委員…公募を行ってみないと、どのような構成になるかわからない。

Q 畠山委員…募集要項をみると防災機能の要望については却下されたのか。

A 他の手段を取ることになる。市として主体的に検討することを要項でも示している。

(2) まちづくり通信33号について

- 事務局が作成した原稿案を提示し、修正がある場合は役員会の前（9/3まで）までに、事務局に伝えてもらうことを依頼した。

(3) その他

- 澁谷宏美委員から、セーリングW杯の記念切手が発行されたことが報告された。

5. その他

(1) 当面の日程

第6回役員会 9月 4日(火) 午後6時30分～午後8時30分 市民以外-第2談話室
第6回全体会 9月20日(木) 午後6時30分～午後8時30分 市民以外-第1談話室

6. 閉会

以 上

平成30年度第6回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2018年9月20日(木)

午後6時30分から午後8時45分まで

片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 16人(現在数20人)
欠席 4人(依藤委員, 岩田委員, 中川委員, 笹岡委員)
- ・江の島地区周辺整備担当 2人(飯田主幹, 山原補佐)
- ・事務局 6人
- ・傍聴 0人

《当日資料一覧》

1. 平成30年度第5回全体会議事録
2. 部会議事録
3. 地域回覧チラシ(9/5, 9/20)
4. 地区レクリエーション大会プログラム
5. 片瀬江ノ島駅駅前広場の整備について
6. オリンピック・パラリンピック関連ワーキング
7. 第1回まちづくり地区集会企画案
8. ふれあいまつりレイアウト
9. ふれあいまつりプログラム
10. まちづくり通信第33号

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- (1) 平成30年度第5回全体会(8/21)について
 - ・事務局から説明し, 確認した。
- (2) 部会からの報告
 - ・部会議事録をもとに報告した。
- (3) 各地域団体等からの報告(トピック)
 - ・澁谷晴子委員(社会福祉協議会)から, 「生活支援ボランティア見本市」開催案内, 「赤い羽根共同募金」周知, 「福祉バザー(ふれあいまつり)」開催案内, について報告された。
 - ・畠山委員(自治町内会連絡協議会)から「自治連だより」発行について報告された。

- ・浜野委員（スポーツの会）から「プール開放」「カップまつり」の事業報告、「地区レク」の開催案内がされた。※三觜委員から「子ども会に所属していない子どもたちも参加してほしい」とのコメントあり。
- ・三觜委員（青少年育成協力会）から「夜間海岸パトロール」実施について報告された。
- ・秋岡委員（江の島振興連絡協議会）から「セーリング W 杯」とそれに伴う「ウェルカムフェスティバル」実施について報告された。

(4) その他

4. 議題

(1) 片瀬江ノ島駅駅前広場の整備について（江の島地区周辺整備担当から説明）

●担当課から駅前整備方針及びそれに伴う周辺整備の方針について説明がされた。

・駅前整備

- ①交通空間の整備→駅前の車両通行不可，ロータリーの整備
- ②環境空間の整備→歩行者の安全確保，駅前の広場化

・周辺整備

- ①ゾーン30の設定→地域の交通安全対策
- ②鵜沼海岸10号踏切の整備→交通の円滑化

・今後のスケジュール

- ①駅前整備，周辺整備→平成31年7月ごろまで，計画，設計，調査を実施し，平成32年7月まで，工事及び周辺道路の安全対策実施，それ以降，ロータリーの将来計画に向けた取り組みを実施する。

●質疑応答

Q 緊急車両は駅前広場を通れるようになっているか。

A 今と同じく，引き続き使えるようにする。

Q 江ノ電の湘南海岸公園駅にある踏切も通行に支障があるが，通学路になっていることもあり，対策をお願いしたい。

A 現状に応じた安全対策を取りたい。少しでも安全に配慮をしたい。

Q 片瀬江ノ島駅前の北側に一方通行路を整備することのだが，非常に狭いのでは。

A 道路沿いの住民の方と相談しながら調整を進めていきたい。

Q 上記に関連して，片瀬江ノ島駅前の北側で右折させ，一方通行路に誘導させようとしている車はどのような車か。

A 地域にお住いの方々が送迎目的で使う，といったことを想定している。

Q 山本橋の地点で，近隣住民以外（観光客）が侵入できないようにはできないか。

A 要所要所で駅前を通行できないことを周知する看板を設置し，注意喚起していきたい。当初は観光客等の誤侵入による混乱が予想されるので，指定されてから1～2週間の対応が大切と思う。

(2) 東京オリンピック・パラリンピック関連ワーキングから（報告・協議）

- 8月28日に開催された第1回ワーキングの報告を行った。
- ワーキングから提案され、9月4日の役員会で「セーリングの面白さ」を伝える地区集会について検討したことを報告し、全体会においても地区集会を開催することを確認した。以下、地区集会の内容について検討した。
 - ・若い人たちや子どもたちが来られるようなテーマ設定を。
 - ・子どもが飽きないように、次第の順番を工夫してほしい（外部講師を先にする、2部構成にする等）
 - 講師と聴衆が直接コミュニケーションを取れるようにするのであれば、講演を先にする
と講師を待たせる（あるいは帰る）ことになるので、次第の入れ替えは検討が必要。講師の意向も確認する。
 - ・講師案の一人目、関氏は大変魅力的な人で、二人目の富田氏も学校の先生であったこともあり、話がうまい。どちらも講師として適切に思うが、メダリスト（関氏）の方がやはり人を呼べると思う。
 - ・子ども向けなら地区集会は土日開催か。来てほしい対象を考えると候補は絞られる。地区集会のボリュームを2時間と考えると夜間に開催するのは難しい。
 - ・セーリングに興味（特に小中学生）を持ってもらうことを趣旨として、学校を訪問して開催するのはいかがか。
 - ・地区集会ということもあり、小中学生に限定してしまうと地区集会という性質を失ってしまうのではないか。大人向けのテーマであっても、昨年10月に開催したオリパラをテーマとした地区集会では子ども連れも見られたので、テーマ設定は大人向けでよいのでは。

〈まとめ〉

☆企画の詳細は今後役員会で煮詰める。

☆講師には事務局からアプローチをかける(講師の都合によっては1月開催も念頭に置く)。

(3) ふれあいまつりのブースについて（報告・協議）

- 機運醸成を目的に、オリンピック、セーリングに関連するものを紹介するブースを設置することとした。具体的にはセーリングに関する切手紹介（澁谷宏美委員）、セーリング競技用の旗展示、オリパラ紹介パネル等を設置する。

(4) まちづくり通信33号について（最終確認）

- 印刷所からフルカラー原稿が上がってきたので、印刷前の最終確認を行った。一部修正があったため、修正のうえ、印刷する（10月5日回覧）。

(5) その他

5. その他

(1) 当面の日程

第7回役員会 10月 4日（木）午後6時30分～午後8時30分 市民セカ-第2談話室

第7回全体会10月16日(火)午後6時30分～午後8時30分 市民以外-第1談話室

6. 閉会

以 上

平成30年度第7回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2018年10月16日(火)
午後6時30分から午後8時まで
片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 13人(現在数20人)
欠席 7人(浜野委員, 森田委員, 村越委員, 大館委員,
岩田委員, 中川委員, 高野委員)
- ・事務局 5人
- ・傍聴 0人

《当日資料一覧》

1. 平成30年度第6回全体会議事録
2. 部会・ワーキング議事録
3. 地域回覧チラシ(10/5)
4. 第1回まちづくり地区集会企画案・講師資料
5. 新コミュニティ拠点施設(新・片瀬山市民の家)検討会議委員の推薦について(お願い)
6. 郷土づくり推進会議の地区交流会について(案)

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- (1) 平成30年度第6回全体会(9/20)について
 - ・事務局から説明し, 確認した。
- (2) 部会からの報告
 - ・部会議事録をもとに報告した。
 - ・オリパラ関連ワーキングに関連して, 三觜委員から弁天橋の花植えについて, 子ども会連絡会としても協力していきたい, との意見があった。
- (3) 各地域団体等からの報告(トピック)
 - ・澁谷晴子委員(社会福祉協議会)から, 「めざせ元気シニア」開催, 社協生活支援部会による「生活支援ボランティアの集まり」開催, について報告された。
 - ・事務局から浜野委員(スポーツの会)の代理として, 「地区レクリエーション大会」開催, 「パークゴルフ大会」申し込み開始について報告された。
 - ・三觜委員(青少年育成協力会)から「教育文化講演会」開催について報告された。

(4) その他

4. 議題

(1) 第1回地区集会の開催について（協議）

●事務局から現時点の協議及び進捗状況について説明を行った。

・開催日時について

当初12月予定であったが、講師調整の都合により、1月末とした。

・講師について

オリパラ準備室からの紹介で牧野幸雄氏に依頼することとした。牧野氏は事前に事務局から本件について内諾済み。

●報告を受けて、講演内容、日程、開始時間等について協議を行った。

・講演内容について

オリパラワーキングでも触れられたが、講演内容について、まち協から聞いてみたいことを要望として講師に伝えることも役員会で検討する必要がある。

・日程について

第1候補：2月1日（金）、第2候補：1月31日（木）

・開始時間について

当初午後6時からとしていたが、都心への通勤者に配慮し、午後6時30分開始、午後8時30分終了とする。

(2) 新コミュニティ拠点施設（片瀬山市民の家）検討会議委員について（協議）

●市民自治推進課からまち協に対して検討会議委員の推薦（3人以内）の依頼があったため、推薦者を検討した結果、畠山会長、三觜副会長、笹岡委員の3名を推薦することとした。

(3) 片瀬地区ポータルサイトの今後の運用について（報告）

●事務局から、今年度いっぱい現行のポータルサイトは終了し、来年度からは体裁を変えてポータルサイトが継続されること、記事の移し替えが必要になることを報告した。

- ・新しいポータルサイトの周知について配慮する必要がある。2019年明けくらいから、新ポータルサイトをプレオープンし、旧ポータルサイトには移行先のリンクを掲示する。まちづくり通信の活用も必要になる。

(4) 郷土づくり地区間交流会について（報告）

●事務局から、畠山会長、三觜副会長が交流会に出席することについて報告した。

(5) 平成31年度予算について

●事務局から予算について、事業として終了する居場所サポーターの謝礼について、要求額が減ることを報告した。

(6) その他

●笹岡委員から、部会に属さない生活に関連する地域の課題解決に向けた、市に対して、地域の特色ある提言を次回の会議にて挙げたい、との提案があった。

- ・笹岡委員が検討している提案事項→①倒壊危険性のあるブロック塀について、②ビニール袋の有料化について、③小田急線のダイヤ改正について（片瀬の住民が使いやすく）
- ・他の委員から、関係団体への意見聴取や地区集会でのアンケート結果等を受け、地域課題として捉えたものを提言として挙げていくことが手続き上望ましいとの意見があった。

5. その他

(1) 当面の日程

第8回役員会 11月 6日（火）午後6時30分～午後8時30分 市民センター-第2談話室

第8回全体会 11月20日（火）午後6時30分～午後8時30分 市民センター-第1談話室

6. 閉会

以上

平成30年度第8回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2018年11月20日(火)

午後6時30分から午後8時30分まで

片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 12人(現在数20人)
欠席 8人(依藤委員, 川嶋委員, 甘粕委員, 中川委員,
岩田委員, 秋岡委員, 吉見委員, 永由委員)
- ・事務局 5人
- ・傍聴 0人

《当日資料一覧》

1. 平成30年度第7回全体会議事録
2. 部会議事録
3. 地域回覧チラシ(10/19・11/5・11/20)
4. ふれあいまつりにおけるまちづくり協議会 オリンピック PR 展示コーナー 写真
5. 平成30年第1回まちづくり地区集会 次第
6. 平成30年第1回まちづくり地区集会 企画(案)
7. 平成30年第1回まちづくり地区集会 チラシ(案)
8. 平成30年第1回まちづくり地区集会 参加者アンケート(案)
9. 平成30年第1回まちづくり地区集会 進行表(案)
10. オリ・パラ カウントダウンボード 形状卓上用L形
11. 地域課題についての提言(案)
＜国内のプラスチックごみ削減をすすめる、自治体などの取り組み＞
12. 片瀬・江の島まちづくり協議会忘年会について(ご案内)

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- (1) 平成30年度第7回全体会(10/16)について
 - ・事務局から説明し, 確認した。
- (2) 部会からの報告
 - ・部会議事録をもとに報告した。

- ・ 畠山会長（郷土文化推進部会）

前回の全体会の時に笹岡委員からいただいた「継承」「伝達」をしっかりと区別していったほうがよいのではないかという意見を参考にして今後は部会でも「継承」と「伝達」をしっかりと区別し、キーワードを取捨選択していくという報告があった。

- ・ 渋谷委員、事務局（ボランティアセンター運営委員会）

11月28日に開成町からボランティアセンターの視察があり、社会福祉協議会会長と前会長の2名で案内する旨の報告があった。

(3) 各地域団体等からの報告（トピック）

- ・ 渋谷晴子委員（社会福祉協議会）から、「生活支援のボランティアに興味ある人！集まれ」開催報告、「家族を介護している人のつどい」申し込み開始、社協ニュース発行について報告された。

- ・ 三觜委員（青少年育成協力会）から「なんでもトーク」開催内容について報告された。

- ・ 村越委員（生活環境協議会）から「第24回一日清掃デー」開催結果について報告された。

(4) その他

4. 議題

(1) 「第41回片瀬地区ふれあいまつり」実施結果について（報告）

- 事務局からふれあいまつりにおける片瀬・江の島まちづくり協議会としての展示物「オリンピックPR展示コーナー」の写真をもとに説明を行った。

- ・ 渋谷委員

当日は展示物を見に来てくれた親子連れなどに藤沢ピックウェーブの缶バッジを配布して応援団への参加を募った。100個ほど配布したので一定の効果は期待できると思う。次年度もこれらの展示品を借りることで了承を得た。ヨットの旗を貸与できればよりよかったと思うのでそれは次年度への反省点としたい。

(2) 第1回地区集会の開催について（協議）

- 地区集会の企画（案）・進行表（案）をもとに事務局より説明を行った。

進行表に関して

- ・ 徳江委員

講師牧野さんの話が40分で足りるのか。牧野さんの話を多くしたほうがよい。1部のまちづくり協議会説明やオリパラ準備室の大会説明を短くしたらどうか。

- ・ 事務局

質疑応答ふくめて1時間をお願いしている。興味ある内容をアンケート集計し、その内容を牧野さんに事前に伝えて、説明をしてもらうようにしている。

- ・ 笹岡委員

チラシに牧野さんの講演時間は記載されているので、牧野さんの話だけ聞きたい人は7時過ぎにくるのではないか。

- ・ 畠山会長

牧野さんの話40分、質疑応答20分、質疑の中でも話是可以るので、実質1時間の講演

と考えるとよいのではないか。

・徳江委員

やはり40分は講演としては短すぎると思うのでタイムテーブルを検討したほうがよい。

・笹岡委員

会社帰りのサラリーマンをターゲットとするということを考慮すれば19時30分開始なのは適切であると思う。

・畠山会長

閉会時間を遅らせることも可能なのではないか

・大館委員

講演を50分、質疑を10分でもよいのではないか。来た人は牧野さんの話を長く聞きたいのではないかと思う。

・村越委員

質疑応答がたくさんある場合、時間延長で行えばよいのではないか。せめて講演時間は50分にしてはどうか。

・渋谷委員

終了時間を20時45分にして、早く帰りたい人のためにもチラシにきちんと記載したほうがよいと思う。

→結論として、講演時間は50分、質疑時間は10分（延長可能）、終了時間は20時45分とすることとした。

チラシに関して

→委員からでた意見をもとに事務局が修正し、12月7日の役員会で最終確認することとした。

参加者アンケートに関して

→委員からでた意見をもとに事務局が修正し、12月7日の役員会で最終確認することとした。

アンケートにバインダーをつけたほうがよいという意見をもとにアンケートにはバインダーをつけて渡すこととした。

会場レイアウトに関して

→会場図をもとに事務局が説明。会場後方のアンケート記載台の前に、ふれあいまつりで行ったオリンピックPR展示コーナーを再度行うことについて提案した。

委員了承。渋谷委員からも了承をえた。

(3) その他

●笹岡委員が前回の全体会のときに提案した地域課題についての提言について資料をもとに説明した。

前回の全体会で3点の提言を行った。①倒壊危険性のあるブロック塀について、②ビニール袋の有料化について、③小田急線のダイヤ改正について

今回はプラスチックごみ削減の地域づくりの推進に焦点を絞った。資料を基に説明。

- 事務局

過去に片瀬地区まちづくり協議会で提言した実績を報告。

今回の提言もまちづくり協議会として全体会や部会で意見集約していく必要がある。片瀬地区生活環境協議会との連携も必要になってくる。まずは役員会で検討することを提案。

- 村越委員

生活環境協議会会長として提案内容についての過去の片瀬地区としての取り組みを説明。

まちづくり協議会の前身であるくらしまちづくり会議の中で過去同様の提言があった。

活動が功を奏して片瀬・鵜沼地区は過去2年間、レジ袋削減のモデル地区となった実績がある。藤沢市生活環境協議会としてもプラスチックごみ削減の問題は課題の一つとなっているし、市としても取り組みを行っていて藤沢市民祭り等でも啓発キャンペーンを行っている。片瀬地区生活環境協議会主催で4月に行う海岸クリーン活動や5月に市で行っているごみゼロキャンペーン、7月・8月に湘南海岸をきれいにする会主催で行っている海の日街頭キャンペーン、片瀬地区生活環境協議会主催のごみゼロクリーンキャンペーンなど様々な啓発活動もすでに行っている。美化財団で毎日海岸も清掃しているので目につく大きなゴミはクリーン活動を行っていてもないという声も多い。確かに台風後や花火大会の後に海岸のゴミに関しては問題となるし、観光客のポイ捨ては問題であると考えてはいるが、今回の提言は具体的にどういったことを市に期待するものなのか。

- 笹岡委員

活動がすでに行われていることは意識している。ただもっと市として民間企業も巻き込んで推進していけばいいのではないかと思う。

- 村越委員

市の生活環境協議会としても問題は意識している。まちづくり協議会から以前提案されたキャンペーンは生活環境協議会で現状行っているが、人手が足りないのが現状である。環境部長に呼びかけをおこなってはいるが参加者が少ないのが問題。

- 森田委員

団体をお願いするだけでなく、気付いた人が行うことがよいと思う。自分たちも趣味の釣り場のゴミ分別のボランティアを行っている。市や団体をお願いしていても進まないのが気が付いた人が行うことが大切である。

- 渋谷委員

市としても今回の提言にかかわる条例は以前あったと記憶している。提言としては、市の条例をもっと厳しくする方向で進言しないと市は動かないと思う。

- 高野委員

海にプラスチックごみが浮遊することの問題は美化問題だけではなく、浮遊物を食べた魚を食べる人体への健康被害に関しても検討したほうがよいと思う。

→上記意見を参考にしてとりあえず、役員会で今回の提言をどのように扱っていくか再度検討することとした。

①オリパラ開催準備室からの報告

→オリンピック・パラリンピック関連ワーキングでだされた委員の意見を市のオリンピック・パラリンピック開催準備室に伝えたところ、正式に市として予算化され、卓状用L型カウンタダウンボードが各市民センターのカウンターに置かれることがきまったことを事務局より報告した。

②忘年会について

資料をもとに事務局より案内、参加を呼びかけた。

5. その他

(1) 当面の日程

第9回役員会12月 7日(金)午後6時30分～午後8時30分 市民センター-第2談話室

第9回全体会12月20日(木)午後2時30分～午後4時30分 市民センター-第1談話室

6. 閉会

以上

平成30年度第9回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2018年12月20日(木)

午後2時30分から午後4時30分まで

片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 13人(現在数20人)
欠席 7人(川嶋委員, 浜野委員, 大館委員, 依藤委員,
秋岡委員, 岩田委員, 中川委員)
- ・事務局 7人
- ・傍聴 0人

《当日資料一覧》

1. 平成30年度第8回全体会議事録
2. 部会・ワーキング議事録
3. 地域回覧チラシ(12/5, 12/20)
4. 第1回まちづくり地区集会企画案
5. 同 協議会紹介スライド
6. 同 周知チラシ
7. 同 参加者アンケート
8. 平成30年度第9回役員会議事録
9. 地域課題についての提案
10. ポータルサイト移行スケジュール(案)

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- (1) 平成30年度第8回全体会(11/20)について
 - ・事務局から説明し, 確認した。
- (2) 部会からの報告
 - ・部会議事録をもとに報告した。
- (3) 各地域団体等からの報告(トピック)
 - ・澁谷晴子委員(社会福祉協議会)から, 社協だよりの「しあわせ」が発行され12月5日から全戸配布されていることについて報告された。
- (4) その他

- ・特記事項なし

4. 議題

(1) 第1回地区集会の開催について（確認）

- 事務局から現時点の協議及び進捗状況について説明を行った。

- ・協議会紹介スライドについて、内容を確認した。

→各部会名と事業名の文字の大きさについて、事業があるうえで部会があることから、事業名の文字サイズを大きくしてはどうか。

→複数スライドにまたがる部会について、2枚目以降部会名は取ってはどうか。

→「緑と花いっぱい推進活動事業」については、他と同じく、大見出しをつけてはどうか。

→まちづくり通信について、役員会で編集作業を取り扱っていることは書かなくていいか。

→青少年健全育成部会については、検討課題を掲載していきたい。

→スライド単位でみれば、部会名はスライドごとに記載されているほうが良いと思う。

→郷土魅力継承等課題については、文字だけなので、写真を載せてはどうか。

→まちかど相談事業の「高齢者相談」について、終了時間を午後3時と修正する。

- ・チラシについて

→全戸配布するための印刷済み原稿が出来上がったので、委員に渡した。

(2) 笹岡委員からの地域課題提案について

- 第9回役員会での検討結果を報告し、役員からの補足説明、各委員からの意見が挙げられた。

- ・役員からの補足

→一律プラスチック製ストローやレジ袋の撤廃は難しいのでは、困る業者がいると思う。

- ・各委員からの意見

→提言は難しくとも、課題として検討を続けていく意味はあるのでは？

→海のある地区の住民が声を上げていくことに意義あるのでは。

→提言よりも地域住民によるプラごみ削減の宣言のほうが情報発信力があるのでは、片瀬から全国に広がっていくのでは。

→市全体でレジ袋禁止するようなスケールになるのでは。商工業関係者を多く抱える片瀬から声を上げるのは難しいと思う。生環協による取り組み（レジ袋削減）に期待できるのでは。

→過去のレジ袋削減運動について、小規模業者は賛同しなかった。観光客が出すごみまで地域住民が対応するのは規模の大きい話になる。

→キャンペーン等のグッズをプラスチック製品以外のものに変えていくといった小さな取り組みが大きな変化につながっていくのでは。

→クリーン活動等でごみを集めるために使うビニール袋を異なる材質に変えて、そういった工夫をマスメディアに取り上げてもらうのはどうか。

→活動を継続的に検討した方がよいのでは。

- 結論として、検討継続となった。

(3) 片瀬地区ポータルサイトのスケジュールについて

- 年度末で現行ポータルサイトが終了するため、年度初めまでに行われる作業等についてスケジュールとして提示した。
- 2020年度以降、ポータルサイトが使用できるか不明瞭のため、ポータルサイトに代わるインターネットによる情報発信手段の検討や、そもそもそういった手段が引き続き必要か、協議会で検討する必要があることを事務局から伝えた。

(4) その他

- 特記事項なし

5. その他

(1) 当面の日程

- | | | | |
|---------|----------|-----------------|--------------|
| 第10回役員会 | 1月10日(木) | 午後6時30分～午後8時30分 | 市民センター-第2談話室 |
| 第10回全体会 | 1月24日(木) | 午後6時30分～午後8時30分 | 市民センター-第1談話室 |

6. 閉会

以上

平成30年度第10回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2019年1月24日(木)

午後6時30分から午後8時30分まで

片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 13人(現在数20人)
 - 欠席 7人(浜野委員, 村越委員, 秋岡委員, 岩田委員,
中川委員, 高野委員, 笹岡委員)
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催準備室 秦野課長補佐, 広岡上級主査
- ・事務局 6人
- ・傍聴 0人

《当日資料一覧》

1. 平成30年度第9回全体会議事録
2. 部会議事録
3. 地域回覧チラシ(1/4, 1/18)
4. 第1回まちづくり地区集会 企画書
5. 同 東京2020大会最新情報スライド
6. 同 次第
7. 同 進行表・会場レイアウト
8. 同 参加者アンケート
9. 同 周知チラシ
10. 同 活動計画スライド
11. 同 台本

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成30年度第9回全体会(12/20)について

- ・事務局から説明し, 確認した。

(2) 各部会・ワーキングからの報告

- ・部会議事録をもとに報告した。
- ・青少年健全育成部会について, 質疑応答あり。

Q 青少年居場所事業の「居場所サポーター」とはどのような人か

A 本事業が始まったときから活動している有償ボランティアになる。青少年関係の活動をしている人が多い

Q こどもらんどに関連して、三髯委員はみらい創造財団と直接の雇用関係があるのか

A 雇用関係ではない（財団の理事ではある）

Q 中学生のために、こどもらんどの開放時間を1時間延長しては、との意見だが、中学生は何をしたいのか

A 卓球をするようだ。彼らを対象に、学習の機会創出に絡められるかもしれない

Q こどもらんどでは、ゲームやスマートフォンは禁止か

A 禁止

(3) 各地域団体等からの報告（トピック）

- ・社協から映画上映会（2月8日）「逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者」と「家族を介護している人のつとめ（2月21日）」の開催について案内があった。

(4) その他

- ・特記事項なし

4. 議題

(1) 第1回地区集会の開催について（最終確認）

①第2部「東京2020大会最新情報」について

- ・大会概要・ボランティア等の説明（東京オリンピック・パラリンピック開催準備室）

●東京オリンピック・パラリンピック開催準備室職員が、スライドの提示を受けながら本番同様に説明を行った。スライドの概要は以下の通り

- ・東京2020大会は過去最大の規模となる。
- ・神奈川県調査によると、県民の約3分の1がセーリング競技に対して何らかの興味・関心がある。
- ・藤沢市では東京2020大会を盛り上げるために、様々なイベントを通じてセーリング競技の普及啓発やオリパラの機運醸成を行っている。
- ・2018年から3年連続でセーリングワールドカップシリーズ等の大会が江の島で開催される。これに合わせて様々な事業を実施予定。
- ・ボランティアの応募状況は定員を大きく超えている。今後も都市ボランティアの2次募集や関連する研修会等が行われる。
- ・藤沢市独自ボランティアや藤沢ビッグウェーブの取り組みによって、東京2020大会を迎える準備を続けていく。

●質疑応答・意見交換

Q 観覧席の計画は

A 堤防のところに設置される。席数は今後決まる

Q チケットを買っても肉眼では見られない

A 会場の雰囲気やオーロラビジョンで楽しんでもらう

Q 表彰式は島内か

A 決まっていないが、行われるのでは

Q 今年のワールドカップでは盛り上げイベントは行われるか

- A 何らかのイベントは行われる。開催準備室では総合案内を担当したり、ボランティアの活動も行われる
- Q ワールドカップ以外にも大会が行われるようだが、各大会のPRは行わないのか
- A 連動性のある広報を行う予定
- Q ワールドカップとオリンピックの出場選手は同じか
- A ワールドカップで結果を残した選手がオリンピックに出られるような形になる
- Q オリンピックのウェルカムイベントは行われるか
- A 国際オリンピック委員会が会場の運営を行う。駅からの誘導等は市が担う
- Q 今年のワールドカップは8月25日からメインか。子どもたちに見せるとしたら
- A 大会内部に入っていくのはセキュリティが厳しくなる。子どもが入れるとしたら470ワールドのほうが入りやすいのでは
- Q イベントは島内で行うか
- A 島外を想定している
- Q 今日の発表は、与えられた時間をオーバーしているので、スライドをカットしてほしい。スライド No.5,13,25,26 はカットするか説明を飛ばしてもいいのでは。また、スライドは講師の牧野さんにも送っておいてほしい
- Q スライド No.16 の独自ボランティアとは
- A これから具体化していく。2、3月にワークショップを行い、2019年度にイベント等実施予定
- Q 弁天橋の手を付けられていない植栽帯は
- A 独自ボランティアや地域の方々に担ってもらうというのはいかがでしょうか
- Q ボランティア活動は、大会後も継続できるよう、市のケアが必要
- A ご指摘の通りと思う
- Q 都市ボランティアのアンケートは説明会参加者の集計ではなく、応募者の集計にしたほうが実態に沿うのでは
- A そのように修正する
- Q チケットはインターネット販売が中心となる
- A そうなると思う
- Q チケットの販売所はどこにあるか
- A 委員会で決めると思う。コンビニエンスストア等と提携等が考えられる
- Q チケット購入に必要なID登録はいつからか
- A すでに始まっている

②第1部「片瀬・江の島まちづくり協議会の紹介」について

- ・パワーポイント資料・進行原稿の最終確認
 - スライド他、当日配布資料の最終確認を行った。
 - ・次第
- 開催日時の曜日が異なっていたので、修正する。

第2部のオリパラ準備室の前にある「※」を削除する。

第2部と第3部の間の休憩を明示する。

第3部の「(1)」を削除し、牧野氏の肩書として「セーリング元オリンピック代表」を入れる。

・座席配置

徳江委員の座席を演台に近いところにする（集会中、移動しやすいように）。

・参加者アンケート

地区集会の開催日時について、「午前」を10時からとし、「夕方」を削除し、「夜間」を午後6時からにする。また、平日の場合と休日の場合との、場合分けを行う。

・活動計画スライド

「青少年居場所事業」について、青少年健全育成部会で持っている3つの事業の最後にし、「本年度末終了予定」といった注釈を入れる。これについては、口頭説明の中にも終了予定であることに触れなくてよいか、という意見あり。

(2) まちづくり通信について

・スケジュールの確認

●事務局から、今年度の名義で発行される予定のまちづくり通信について、紙面の内容とスケジュールにつき説明を行った。

・第34号…地区集会報告号（3月25日付発行）。地区集会の結果によるが、A3両面刷りの紙面構成になる予定。オリパラワーキングも編集に参画する。

・第35号…平成30年度事業報告号（3月31日付発行、配布は4月5日から）。紙面には、小学生の居場所課題についての検討結果、片瀬山市民の家の検討委員会が始まっていることを掲載する。

(3) その他

●各地区の郷土づくり推進会議の懇親会について、参加結果を聞きたいという要望あり。
→次回全体会にて結果報告。

●団体選出委員のうち、2団体（公民館評議員会、サークル連絡会）から委員が出ていないことについて、どのように対応するのか質問あり。

→次回役員会で、次年度体制を検討する際に、併せて検討する。なお、公民館評議員会については代表者が片瀬地区住民では無いこと、サークル連絡会については、団体として組織だった状態ではないことが、委員選出を行っていない理由となっている。

5. その他

(1) 当面の日程

第11回役員会 2月 7日（木）午後6時30分～午後8時30分 市民セカ-第2談話室

第11回全体会 2月21日（木）午後6時30分～午後8時30分 市民セカ-第1談話室

6. 閉会

以 上

平成30年度第11回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

2019年2月21日(木)

午後6時30分から午後9時まで

片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 13人(現在数20人)
 - 欠席 7人(川嶋委員, 浜野委員, 村越委員, 依藤委員,
岩田委員, 中川委員, 永由委員)
- ・事務局 5人
- ・傍聴 1人

《当日資料一覧》

1. 平成30年度第10回全体会議事録
2. 部会議事録
3. 地域回覧チラシ(2/5, 2/20)
4. 郷土づくり推進会議地区交流会次第
5. 平成30年度第1回片瀬・江の島地域まちづくり地区集会開催結果概要
6. 同 アンケート結果
7. 同 当日写真
8. まちづくり通信第34号企画書
9. 同 第1稿
10. まちづくり通信第35号企画書
11. まちづくり通信第31号(第35号の参考として)
12. 平成31年度の執行体制について
13. みんなで踊ろう!東京五輪音頭—2020—

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成30年度第10回全体会について(1/24)

- ・事務局から説明し, 確認した。
- ・三觜委員とみらい創造財団の関係について, 「直接関係がない」という会話が委員間でなされ, 議事録にもそのように記載したが, 三觜委員から, 直接の「雇用」関係はないが, 「財団の理事である」ので, 関係はあることになる, と指摘があったので, 議事録を訂正した。

(2) 各部会・ワーキングからの報告

- ・部会議事録をもとに報告した。

(3) 各地域団体等からの報告（トピック）

- ・自主防から、2月22日に視察研修会が実施されること、2月28日に片瀬中学校生と自主防との交流会が実施されることについて報告された。

(4) その他

- ・11月21日郷土づくり推進会議地区交流会について（三觜副会長）
- ・三觜委員から参加報告があった。約47名が参加した。各地区郷土づくり推進会議の取り組みで、印象に残った話として、明治・辻堂は子育て、鵜沼は元気塾中心、藤沢・村岡・六会は歴史に関するもので、藤沢は藤沢宿、村岡は地域情報を網羅した冊子「輝ら里むらおかハンドブック」の発行、六会は歴史年表と、地域の特色ある取り組みを行っていたことが報告された。

4. 議題

(1) 第1回地区集会の振り返りについて

- 第1部「片瀬・江の島まちづくり協議会について」では、第1部そのものへの振り返りではなく、地区集会の質疑応答であった、しおさいセンターふれあいルームの夜間消灯について、多く議論がされた。

- ・質問者が発言したとおり、公共施設の一般論で一律消灯するものではなく、ふれあいルームの利用者がいるから点灯する、のではなく、消灯されていると閉館していると思われ利用されなくなるので、特例として踏み込んだ判断をしてほしい。しおさいセンターの前の道路は変質者が出ることから、点灯することが防犯にもつながる。
- ・使っていない空間の消灯はごく普通のこと、という認識であり、電気代は税金からまかなわれていることもあり、有効な税金の活用か、という観点では疑問がある。
- ・前方道路の防犯という観点では、そもそも地元町内会が防犯灯を立てて対策すべきことであり、また、実際に複数本防犯灯は立てられており、副次的な効果を点灯の要望理由として挙げるのは論点がずれている。そもそもしおさいセンター完全閉館後には消灯されるのだから、ふれあいルームの常時点灯が防犯の目的を果たしているだろうか。
- ・本質に立ち返り、個人的な意見により方針を偏らせることなく、まち協に求められる、利用者、施設管理者の両者の、総合的立場に立った議論を行うべき。
- ・青少年健全育成部会での議論の延長線上に、本件の議論がなされているが、施設利用という点を踏まえると、質問者も地区集会で触れていたが、公民館活用部会による議論がなされていない。以前、公民館利用の会場申請に関する要望書を出した、市側の検討結果等についても公民館活用部会で報告されていないこともあるので、事務局主導で部会を開催し、ふれあいルームの件についても議論をしてもらえれば。

委員の発言主旨は以上である。

- 第3部「ちゃんと知りたい！セーリング&オリンピック」について、振り返りを行った。
 - ・参加者が少なく、委員も委員席に座っているのではなく、参加者席に移って講演を聞くべきであったか。

- ・3部構成というのは地区集会として欲張りすぎたか、地区集会の中で講演会を開催するのは時間的に難しいことから、地区集会と講演会は分けて開催するという手法もあるのではないか。
- ・地区集会を3回開催するように、というアンケートの意見もあった。
- ・今年度は委員交代と活動計画に伴うワーキングに時間を割いた事情がある。2年目も委員の皆様のご意見をもとに地区集会を開催していきたい。

(2) まちづくり通信第34号及び35号について

●それぞれ企画書をもとに、紙面構成、発行スケジュールを確認した。

- ・第34号…大枠の原稿が出来上がった段階で紙面検討を行った。

→参加者アンケートについて、紙面構成上そもそも必要か、という議論があった。内部資料のため、メインである第3部を大きく取り扱い、アンケートは削減しても良いのでは、となった。また、質疑応答についても要約、削減をすることとした。

→質疑応答が「●」「→」を使っているが「(質問)」「(回答)」とするほうが見やすい、紙面がノドに寄っている、という意見があった。

→修正後、事前に修正版を委員全員に送り、役員会で最終確認とする。

- ・第35号…29年度の事業報告号である第31号を参照しながら紙面構成の検討を行った。

→公民館利用の会場申請に関する要望書については、公民館活用部会のスペースに掲載する。

→役員会前に原稿を委員全員に送付し、コメントをもらったうえで修正版を役員会に提出する。

(3) 来年度の体制について

●2月役員会での議論結果について報告した。

→委員を選出していない公民館評議員会とサークル連絡会について、次年度も委員選出はできないが、委員の選出母体としては存続する。

※公民館評議員会は議長が片瀬地区外の方だから、委員選出ができない、とのことだが、評議員会の委員には片瀬の方もいるのでは、という質問があったが、他の方も、もろもろ他の団体から選出されていることもあり、選出は難しい、という他の委員からの説明があった。

→部会は現在の体制を継続する。

→次年度からポータルサイトの今後に関するワーキングを立ち上げる。

(4) その他

●オリパラ関連イベント「みんなで踊ろう！東京五輪音頭ー2020ー」が開催されること、開催準備室からぜひ参加してほしい旨の依頼があったことを、事務局から伝えた。

●3月全体会において、マイクロプラスチックによる海洋汚染に関する現状と市の取り組みについて環境総務課から、片瀬江ノ島駅前周辺の再整備に関して、変更内容の説明を江の島地区周辺整備担当からそれぞれ説明される予定であることを事務局から伝えた。

5. その他

(1) 当面の日程

第12回役員会3月 7日(木) 午後6時30分～午後8時30分 市民ヒア-第2談話室

第12回全体会3月19日(火) 午後6時30分～午後8時30分 市民ヒア-第1談話室

6. 閉会

以 上

平成30年度第12回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

2019年3月19日(火)

午後6時30分から午後9時まで

片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 15人(現在数20人)
 - 欠席 5人(川嶋委員, 浜野委員, 大館委員, 岩田委員, 中川委員)
- ・事務局 7人
- ・環境総務課 2人(刈屋主幹, 忽滑谷上級主査)
- ・江の島地区周辺整備担当 2人(山原主幹補佐, 出口上級主査)
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催準備室(広岡上級主査)
- ・傍聴 0人

《当日資料一覧》

1. 平成30年度第11回全体会議事録
2. 部会議事録
3. 地域回覧チラシ(3/5, 3/20)
4. まちづくり通信第35号
5. 郷土づくり推進会議運営要領(案)
6. 片瀬・江の島まちづくり協議会部会名簿
7. 平成30年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告集
8. 平成31年度会議日程表(案)・片瀬・江の島まちづくり協議会平成31年度スケジュール
9. 平成30年度片瀬地区地域活動・課題・まちづくり事業一覧
10. 平成31年度の執行体制について
11. ごみNEWS No.21
12. 片瀬江ノ島駅前広場整備計画の変更について

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成30年度第11回全体会について(2/21)

- ・議事録案の確認を行った。まちづくり通信第34号について, アンケートの内容を省略することはこの時点では確定ではなかったのでは→議事録を修正する。

(2) 各部会・ワーキングからの報告

- ・各部会の議事録を確認した。

- ・公民館活用部会について、しおさいセンター前の道路で一部暗い箇所があるが、その件について、防犯交通安全課に防犯灯設置を依頼してみたところ、次年度対応すると回答があった。

(3) 各地域団体等からの報告（トピック）

- ・「社協ニュース」が3月25日付で配布されることが報告された（澁谷晴子委員）。
- ・支援フォーラムの広報誌が3月31日付で配布されることが報告された（徳江委員）。
- ・4月13日にクリーン活動が開催されることが報告された（村越委員）。

(4) その他

- ・特記事項なし

4. 議題

(1) マイクロプラスチックによる海洋汚染の現状と行政の取り組みについて

※環境総務課から

●議題の内容について環境総務課から説明を受けた。

- ・マイクロプラスチック（MP）は1～5ミリのプラスチック片を指す（1ミリ以下はマイクロビーズという）。
- ・現状の清掃では人力でも回収難しい。
- ・対策として、プラスチック製品を使わないことも大事だが、使ったら分別して排出することが大切。
- ・MPの流出は東南アジアや河川流域から多く起きる。

●質疑応答

Q：LIMEX（ポリプロピレンや炭酸カルシウムを原材料とした紙）は定着していくか。

A：正直、進むかは分からない。炭酸カルシウムで作ったレジ袋も燃やすと悪影響が出る。新しいものについては影響について精査する必要がある。今後の科学の進歩が期待される。

Q：MPを食べると人体に影響あるか。

A：そのような報告の論文はない。引用ペットボトルへのMP流出については報道がある。人体に影響を与える可能性は否定はできない。

Q：藤沢市独自の取り組みはあるか。

A：市と企業のタイアップ等については実行が難しい。国レベルでの取り組みが期待される。上流市への働きかけが重要である。

(2) 小田急線片瀬江ノ島駅駅前広場の計画変更について

※江の島地区周辺整備担当から

●議題の内容について江の島地区周辺整備担当から説明を受けた。以下、質疑応答

Q：ミニバスをロータリーに入れる計画は。

A：道路を生かす必要があるので、ミニバスは通れない。

Q：道路拡幅しないと、安全確保できない。計画は失敗では。

Q：環境空間は，市は取得せず，小田急のままか。

A：現状のまま。

Q：改札からロータリーに続く三角地は小田急の土地か。

A：市が道路用地として買収している。

Q：暫定計画の交通空間でマイクロバスは通れないか。また，送迎用のバス（五輪用）は使えないか。

A：ロータリーの性質上，どちらも通れない。

Q：変更後の暫定計画で，五輪を進める予定か。地元への説明は。

A：現時点ではそのまま。

Q：環境空間上の道路は道路になっているか。

A：道路交通法上，道路。

(3) 東京オリンピック・パラリンピック開催準備室から（お知らせ）

- マスコットキャラクター入りのポロシャツ販売について周知があった。
- 都市ボランティア2次募集が始まることの案内を受けた。

(4) まちづくり通信35号について

- 内容について確認を行った。一部修正あり。終了後印刷し，予定通り地域全戸配布する。あんしんみまもりカードについて，次号に周知啓発する啓示を掲載する。

(5) 「片瀬地区郷土づくり推進会議運営要領」の改正について

- 協力員の任期について，年度ごととするか，現行委員の任期ごととするか，は現行委員の任期ごととする。
- 協力員について，定義に関する文言も入れる。

(6) 平成30年度活動報告集（案）について（確認）

- 内容について，確認を行った。

(7) 来年度の体制等について（確認）

- 来年度の体制・会議日程等について確認を行った。

(8) その他

- マイクロプラスチックに対する協議会の対応については，役員会で方向性を検討する。

5. その他

(1) 当面の日程

第1回役員会4月11日（木）午後6時30分～午後8時30分 市民センター-第2談話室

第1回全体会4月25日（木）午後6時30分～午後8時30分 市民センター-第1談話室

6. 閉会

以 上